

LME銅・米経済、景気対策と欧米中関係の動向がカギ

【四国より続く】
【住宅着工戸数】

二月の新設住宅着工は、持家は増加したが、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比二七％の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比〇・八％の増加となった。

【伸銅品生産】

二月の伸銅品生産量は六万三、九八〇トンで前年同月比五・五％増と、一二月連続の増加となった。自動車向けを中心に伸銅品需要、特に銅条や黄銅条と棒が伸びている。

【電線出荷】

前年比五・五％減の五万二、〇〇〇t。このうち、国内五・二％減、輸出が一七・二％減。

【輸出】

電気銅輸出が三三・五％減の四万二、四二一t、銅スクラップが一〇・九％増の三万〇、四一〇t。

【輸入】

電気銅が一七・一％増の一、三〇七t。スクラップが一・九％増の七、八八九t。

【目通し】

・二月の自動車生産が九・一％減。三月国内販売台数が前年比一・四％増。

生産減は半導体不足によるものと認識、販売は堅調。今後生産減が販売台数に響くか注視。

・二月の伸銅品生産量は六万三、九八〇トンで前年同月比五・五％増と、一二月連続の増加となった。

自動車向けを中心に伸銅品需要、特に銅条や黄銅条と棒が伸びている。

・銅電線出荷量(推定)は前年比五・五％減の五万二、〇〇〇t。このうち、国内五・二％減、輸出が一七・二％減。

三和シャッターマンシヨンドアシリーズを刷新

錠前パリエーションの拡充&高級感のある新柄を追加

三和シャッター工業は、マンシヨンドアシリーズの表面材質及び錠前パリエーションの拡充などリニューアルをし、四月五日より発売すると発表した。

三和のマンシヨンドアは優れた意匠性と機能性を確保し、社会環境やライフスタイルなどの変化にともない多様化するマンシヨンの

前月に続き輸出のマイナスにより減少幅が減少。

・銅輸出は、電気銅は内需(自動車)低迷を受けて減少、スクラップは内需回復から増加。

・銅輸入は、電気銅が相場の急騰や内需回復から増加。

【スクラップ状況予想】

流通在庫は、銅建値が一〇〇万円から一〇四万円まで高値安定の中で、発生も在庫もほとんど。

需要面に関して、半導体不足に伴う自動車需要の減少はあるが、高値警戒感からメーカーは買いに慎重である。ただメーカー在庫は気薄。

【LME・為替予想】

今月は①米経済、景気対策と②欧米中関係の動向に左右される。

①に関しては

バイデン大統領は三月三十一日、二兆ドル強のインフラ投資計画を発表。政府の権限を活用して米経済を再構築し、中国の影響力拡大に対抗することから米景気は更に上向くのでは。

②に関しては

欧州連合(EU)や米国が、中国での少数民族ウイグル族の不当な扱いが人権侵害にあたるとして、中国政府当局者らへの制裁を決めたこと、香港選挙制度の改正、台湾領空への中国機の侵入など更に悪化は進みそう。

これらを踏まえた四月の銅価格は、九、〇〇〇、九五〇〇ドル(セツル)との予想。ドル円値は一〇九円、一一二円(TTM)台を予測。

銅建値に関しては一〇二万、一一〇万円程度と予測している。

ニーズに応じてきたが、今回のリニューアルでは表面材質のパリエーションを見直し、より高級感のある新柄を追加したほか、対応電池錠の充実など錠前のパリエーションを追加し、顧客のニーズにあったマンシヨンドアをより豊富な商品ラインアップから選択することができるようになった。